

ハードウェアスタートアップ
育成プログラム
TIB FAB Makers Challenge

応 募 要 項

2026年6月

(実施主旨)

ハードウェアスタートアップ育成プログラム「TIB FAB Makers Challenge」(以下、本プログラムという)の企画運営を行うTIB FABは、ハードウェア開発用機材と、技術やビジネス面でサポートするスタッフを備えた実証フィールドです。ものづくりスタートアップの成長支援およびネットワーク拡大の場となることで、革新的なアイデアやテクノロジーで社会を前進させる挑戦者を生み出すことを目指しています。

そこで本プログラムは、ものづくり起業の促進を図るため、ものづくりスタートアップに必要な知識や技術の習得、パートナー連携・マッチングによる実装に向けた支援を実施します。

(本プログラムの特徴)

◆ものづくり活動拠点の提供

通常有料のFAB機材が無料になるだけでなく、大判の材料も収まる自分専用の大型ロッカーを完備。仕掛り品を置いたまま、腰を据えて製品開発に取り組めます。(交通費・食事代等の個別の費用を除く)

◆専門知識習得のためのセミナー&ワークショップ

実際に製品開発経験のある起業家や開発者が現場で培ったノウハウを凝縮。即戦力となる有用な知識に特化した、実践的な技術や知識を習得できます。

製品開発経験を持つ起業家等による実践的なプログラムを提供します。

◆開発のための伴走支援

技術相談やメンタリングに加え、原理試作から量産試作まで幅広く対応。参加者一人ひとりの開発段階に寄り添った、一気通貫の支援体制を整えています。

◆ものづくりスタートアップコミュニティ

ものづくりスタートアップに欠かせない、起業家同士をはじめとした、様々な事業者との横のつながりを構築できます。

◆事業化マッチング・プロモーション機会の提供

事業化に不可欠なステークホルダーとのマッチングを支援。土業や町工場との連携ネットワークに加え、製品や成果を効果的に発信する広報PRの機会も提供します。

◆成果発表会

プログラムの集大成として、投資家や金融機関、支援会社などハードウェアスタートアップ関係者が一堂に会するピッチイベントを開催。多数のオーディエンスを前に、自らの事業を直接プレゼンテーションし、次なるステージへと飛躍する貴重な機会を提供します

(本プログラムの企画・運営に関して)

本プログラムは、東京都と一般社団法人DMM.make TOKYOが連携して実施します。

1. 受講対象者

(1)以下の要件を全て満たす個人又は法人が受講対象者となります。

- ・ものづくりビジネスを検討し、ハードウェアのプロダクトアイデア又は試作品を持っている
- ・応募時点で満15歳以上かつ中学校を卒業している
- ・プロダクト開発を行う意思がある
- ・2027年2月までに試作開発を実現する意思がある
- ・プログラムに一貫して参加する意思がある

(2)定員:15チーム程度

- チーム参加は2名まで可能です。
- プログラム途中のメンバー入れ替えはできません。
申請時点でメンバーを確定いただくようお願いいたします。
- 複数チームに所属してのご応募はできません。お一人様につき1チームのみのエントリーで
お願いいたします。

2. プログラムの内容

	テーマ	詳細	実施日
-	キックオフミーティング	キックオフミーティングの実施。 参加者・講師陣の顔合わせ、プログラムのオリエンテーション。	2026年8月8日 (土) 13:00-15:00
DAY 1	「ものづくりスタートアップ導入講座」 講師:関谷 達彦 MechanicalDesign Engineer	将来ハードウェアスタートアップ・メーカーとして事業を営むために必要となる、ものづくり全般のライフサイクルへの理解や習慣をレクチャーする。	2026年8月22日 (土) 10:30-12:30
DAY	「プロダクトの企画・開発ワークショップ	【座学】	2025年9月12日

2	<p>プ-アイデア発想からマネタイズまで-」 講師:金井 隆晴 株式会社DOT P 代表</p>	<p>FABの機材を使って試作し 量産化に成功した先輩ス タートアップが、自社の製 品の製作過程を例に、企 画～マネタイズまでレク チャーする。</p> <p>【ワーク】 前半の座学を元に、チー ム(個人)のアイデアをアイ デアワークシートにまと め、アイデアをブラッシュ アップ ・アイデア書き出し&共有& 絞込み ・「サービス/ターゲット/機 能的価値」 ・「システム/コンセプト検証 /マネタイズ」</p>	<p>(土) 10:30-16:30</p>
DAY 3	<p>「先輩スタートアップ交流会」 ゲスト:調整中</p>	<p>実体験を元に、どのように 事業をステップアップし、人 材を集め、マネタイズして いったかなどテーマやハー ドシングスについて知る。 交流とスタートアップへの アドバイス会。 1期、2期と成果を出してい る卒業生との交流会を同 時開催し、具体的なロール モデルから刺激を受ける 機会を提供。</p>	<p>2026年10月3日 (土) 11:00-12:00</p>
DAY 4	<p>「CAD、プロダクトデザイン/筐体設 計」 講師:生駒 崇光 株式会社ICOMA 代表取締役社長</p>	<p>設計や意匠デザインの基 礎の座学、3DCADを用い た3Dモデリングから3Dプ リンターを用いた筐体プロ トタイプの実践的な手法を 学ぶ。</p>	<p>2026年10月17日 (土) 13:00-16:30</p>
DAY 5	<p>「ものづくりに必要なハードウェア/プ ログラミング基礎講座」 講師: 《ハードウェア担当》</p>	<p>◎ハードウェア講座 【ワーク】 ブレッドボードを用いた回 路実験を通して座学で学 んだ知識を実際の回路に</p>	<p>2026年10月24日 (土) 10:15-16:30</p>

	<p>阿部 潔 TIB FAB技術顧問テクニカルアドバイザー 《プログラミング担当》 矢追 良太 一般社団法人 42Tokyo CTO</p>	<p>適用し、上手な部品配置を学ぶ。 ◎プログラミング講座 【ワーク】プログラミング言語Pythonを用いたワークショップ ・Pythonの基本文法 ・Pythonの制御構文 ・リアルなハードウェアをPythonで動かしてみよう！</p>	
DAY 6	<p>「開発もくもく会」 講師：TIB FABテクニカルアドバイザー</p>	<p>TIB FABの機器や、専門知識が豊富なテクニカルアドバイザーが常駐し、リアルタイムで課題を解決します。 集中して開発に取り組むことで、短期間でのプロトタイプ完成や技術課題の突破を目指します。</p>	<p>2025年10月31日 (土) 10:15-16:30</p>
DAY 7	<p>「中間発表会」</p>	<p>1月末の成果発表会に向けて、製品・ビジネス・プレゼン内容に関するフィードバックを受けることで、プロジェクトをさらにブラッシュアップします。</p>	<p>2026年11月14日 (土) 10:15-16:30</p>
DAY 8	<p>「製品化するための製造プロセス学習」 講師：(株)浜野製作所</p>	<p>原理試作後、市場に製品を出すための量産前試作のプロセスや工場との協業について事例を通して学び、工場見学を通じて量産のものづくりの現場に実際に触れることで、ハードウェア開発への理解を深めます。</p>	<p>2026年11月末～ 12月上旬頃</p>
-	<p>成果発表会</p>	<p>投資家、金融機関、支援会社等の多数のステークホルダーの前で、最終成果のプレゼンを行います。</p>	<p>2026年2月上旬</p>

	<p>メンタリング</p> <p>メンター:プログラム講師陣</p>	<p>受講者のプロダクトアイデアに対して、個別にアドバイスします。ご相談内容に合わせて事務局がメンターを選定します。</p>	<p>プログラム受講期間中、随時ご相談ください。</p>
--	------------------------------------	--	------------------------------

- ※会場はTIB FABおよびTIB内スペースを予定しています。
- ※プログラムの内容および日時等は予告なく変更する場合があります。
- ※上記に加えて、採択者のニーズにあわせた特別講座の開催も予定しております。

3. プログラムの受講費用

無料(飲食費、交通費、一部材料費は各自負担)

4. プログラムの対象期間

2026年8月～2027年2月末まで(予定)

5. 応募手続き

(1) 応募フォーム

応募期限内に募集Webサイト(<https://tib.metro.tokyo.lg.jp/tibfab/program-2026>)のエントリーフォームから申し込んでください。

(2) 応募期限および応募方法

応募期限	2026年7月3日(金) 午前10時00分まで
応募方法	<p>●下記エントリーフォームに記入して送信してください。</p> <p>https://forms.gle/urAkSDevqSG9Q4jW8</p>
問い合わせ	<p>TIB FAB Makers Challenge運営事務局</p> <p>(一般社団法人DMM.make TOKYO)</p> <p>tibfab-program@dmm.com</p>

6. 選考の方法

(1) 応募内容に対して、以下の項目に基づいて選考を行い、その結果をもとにプログラム受講者を決定します。なお、選考の内容についてのお問い合わせには応じられません。また、選考委員の氏名等は公表しません。応募書類、面接での発表内容は初見の相手を想定した過不足のない表現を心がけてください。

(2) 選考結果はメールで通知します。

(3) 1次選考では、書類選考を行います。規定のフォーマットをダウンロードし、

パワーポイントにて送付してください。(ダウンロードURL: <https://x.gd/DN69h>)

必要に応じて補足資料を提出することも可能です。

選考は全回答を総合的に評価し、全応募者の回答を相対比較して選考通過者を決定します。

またプロダクト関連の設問は、本プログラムを受講する必要性を測る内容として詳細の回答が必須の項目となります。

<回答項目>

応募フォームには下記の回答項目が用意されています。

回答欄を空欄にした状態で応募することはできません。

回答項目	
同意	応募要項、参加規約、個人情報の取り扱いに関して
個人情報	氏名
	連絡先(電話番号・住所など)

	年代・属性・職種など
	起業状況
	(法人の場合)会社情報
	(個人の場合)活動状況
	参加人数
エントリーシート 提出	
プロダクト情報	事業 / プロダクト / アイデア名 (記述)
	プロダクトの開発状況 (選択)
	開発を予定しているプロダクトの対象業界 (選択)
	受賞・プログラム採択等の実績 (記述)

(4)2次選考では、面接による選考を行います。

面接は1次選考通過者による5分間のプレゼンテーションと質疑応答で実施します。

<選考方法>

発表時間:5分

形 式:対面(TIB内の会場を想定)

発表方法:PowerPoint等のプレゼンテーションツールを使用して発表を行います。

指定フォーマットはございませんが、以下の項目を入れた発表をお願いいたします。

評価項目:下記の評価項目で選考を行います。

評価項目	評価の視点
------	-------

プロダクトアイデアの新規性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて独自性や優位性、新規性が存在するか。
プロダクトアイデアの市場性	●現在開発している、あるいは開発しようとしている製品・サービスについて、ニーズを含め市場性がどの程度見込めるか。
プロダクトアイデアの妥当性	●ソリューションとしての適切さやチームとプロダクトアイデアの相性や外部環境を含めた実現性の高さ。
課題の明確性	●チームとして現在抱えている、あるいは今後発生しうる事業課題を明確化しているか。
本プログラム受講の動機・必要性・熱意	●本プログラムを受講することでどのようなことを学びたいか、プロダクト開発に生かしたいか。また、熱意をもって主体的に取り組めるか。

7. 受講者の発表

採択者に対して個別にメールでご案内します。

8. 事後アンケートの協力

本プログラム期間中、または修了後、速やかにプログラムの受講により得られた事項や今後の改善・要望事項に関わるアンケートへの回答に協力するものとします。

9. 募集スケジュール概要

(1) 募 集 : 2026年6月3日(水)～7月3日(金)午前10時00分

(2) 事前相談 : プログラムの説明会にご参加ください。

(申込/詳細: <https://tibfabmc2026is.peatix.com>)

(3)選考日程 : 下記期間中に行います。

<1次選考(書類審査)>

選考期間:2026年7月3日(金)~2026年7月10日(金)

結果発表:2025年7月10日(金)頃

<2次選考(プレゼン審査)>

選考期間:2026年7月21日(火)~2026年7月24日(金)

※この期間のうち複数日で実施予定(調整中)

結果発表:2026年7月中を予定しております。

※選考に関するご案内は全てメールにてご連絡いたします。

(4)プログラム開始:2025年8月8日(土)キックオフミーティング実施予定

10. 問い合わせ

【応募、選考方法等プログラム全般について】

TIB FAB Makers Challenge運営事務局(一般社団法人DMM.make TOKYO)

MAIL : tibfab-program@dmm.com